

# 就労能力向上

畑と一緒に働いている利用者さんに常々言っていることがあります。

『お客様に喜んで貰えるにはどうすればよいか？』

『お客様があかつき園の野菜を見たときに買いたいと思ってくれるか？』

これを頭に入れた状態で作業を行ったとき、野菜をより綺麗に洗うようになります。

綺麗に袋詰めをするようになります。野菜を乱暴に扱わなくなります。

畑の作業の1つ1つは地味で、中にはきつい作業もありますが、それが全て『お客様の喜び』に

繋がることを実感します。

また、指示は必要最小限です。

今日一日で何を完了させるのか、今何をするのかを自ら考えて行動できるように支援を行っています。

なぜそのような支援を行うのか。

以前よくあったのが、指示した作業が終わった後、『何すればいい？』という発言でした。

一見積極的に作業をしようと見て取れますが、作業は職員から与えられるもの、と依存しているのが

本質ではないかと考えています。障害者雇用促進法などにより、障害者が企業で働く機会が増えてきていると

同時に、その枠は優秀な方を入れたいという企業の思いを勘案した際、『指示待ち』体質では困ると思いました。

『○○の作業が残っていますので、それをやります』と周りの状況を考えて作業を行える能力や

『お客様』を意識して作業をする感性は、どの分野の仕事でも必要な普遍的なスキ

ルであると思います。

そのようなスキルを身につけて就労してほしいと願っています。

